

ほあけぼのちいあ の 「つれづれのまま」

## 「かずからはじまることば」

<思いつくままに>

- 一 一年の計は元旦にあり
  - 一富士二鷹三茄子
  - 一か八か
  - 一見（いちげん）
  - 一期一会
  - 一事が万事
  - 一病息災
  - 一部始終
  - 一目瞭然
  - 一瀉千里
  - 一挙両得
  - 一騎当千
  - 一矢を報いる
  - 一寸先は闇
  - 一寸の光陰
  - 一寸の虫にも五分の魂
  - 一石二鳥
  - 一朝一夕
  - 一刀両断
  - 一杯食う
  - 一本立ち
  - 一人よがり
  - 一攫千金
  
- 二 二一天作五（にいちてんさくのご）・・・昔の算数
  - 二天論・・・宇宙の根本原理を精神と物質の2実在とする考え方
  - 二言
  - 二束三文
  - 二足の草鞋
  - 二度あることは三度あり
  - 二刀流
  - 二兎を追うもの一兎をも得ず
  - 二の足を踏む
  - 二夫にまみえず
  - 二本柱
  - 二枚舌

**三** 三界に家なし  
三顧の礼  
三度目の正直  
三人よれば文殊の知恵  
三拍子揃う  
三本柱  
三本指  
三位一体  
三日坊主

**四** 四苦八苦（お釈迦さま 人生4種の苦痛+四苦）  
生きること  
老いること  
病むこと  
死ぬこと  
四神（ex. 高松塚古墳・薬師寺）  
青竜（せいりょう・東）  
白虎（びやっこ・西）  
朱雀（しゅじゃく・南）  
玄武（げんぶ・北）

**五** 五感  
五行・・・木・火・土・金・水  
五臓・・・心・肝・脾・肺・腎  
五里霧中  
五本の指

**六** 六根・・・六識の感官、眼・耳・鼻・舌・身・意  
六経・・・易経・書経・詩経・春秋・礼（らい）・楽経（佚書）  
六腑・・・大腸・小腸・胆嚢・胃・三焦・膀胱

**七** 七草  
春（芹・薺なすな（ぺんぺんぐさ）・五行・繁縷はこべ・仏の座・菘  
すずな（かぶ）・蘿蔔すずしろ大根）  
秋（萩・尾花・葛・撫子・女郎花・藤袴・朝顔桔梗）  
七福神・・・恵比寿・大黒天・毘沙門天・弁財天・福祿寿・寿老人・布袋  
七転八倒  
七転八起（七顛八起）（しちてんはつき）

## 八苦 四苦+四苦

愛別離苦（あいべつりく）・・・愛する者といつか必ず別れなければならない苦  
怨憎会苦（おんぞうえく）・・・憎い者といやでも付き合わなければならない苦  
求不得（得）苦（ぐふとくく）・・・得たいと欲するものを得られない苦  
五蘊（陰）盛苦（ごう（お）んじょうく）・・・静まってくれと願っても静まらない煩悩苦

## 八

### 八大地獄

等活地獄  
黒繩地獄  
衆合地獄  
叫喚地獄  
大叫喚地獄  
焦熱地獄  
大焦熱地獄  
無間（阿鼻）地獄

八方美人

八方塞り

八面六臂・・・四方と四隅・・・一人で数人分の（八つの顔）手腕（六つの肘）を発揮すること

## 九

九牛の一毛

九死に一生

## 十

十王・・・死後七日毎に裁きに当る王

初七日・・・泰広王

二七日・・・初江王

三七日・・・宋帝王

四七日・・・伍官王

五七日・・・閻魔王(地蔵菩薩)

六七日・・・變成王

七七日・・・泰山王・・・最後の裁きで六道(天道・人間道・修羅道・畜生道・餓鬼道・地獄道)の行先がきまる

百箇日・・・平等王

一周年・・・都市王

三周年・・・五道転輪王

十人十色

## 蛇足

- 一番はじめは 一の宮
- 二は 日光東照宮
- 三は 佐倉の惣五郎 (三は讃岐の金比羅さん)
- 四は 信濃の善光寺
- 五つ 出雲の大社 (おおやしろ)
- 六つ 村には鎮守様
- 七つ 成田の不動様
- 八つ やはたの八幡宮 (八つ大和の東大寺／法隆寺)
- 九つ 高野の弘法さん
- 十は 東京招魂社 (十で所の氏神さん／東京泉岳寺／東京本願寺)

これだけ真願かけたなら  
浪子の病も治るだろう  
ごうごうごうと鳴る汽車は  
武男と浪子の別列車  
二度と逢えない汽車の窓  
鳴いて血を吐くほととぎす

<この回 おしまい>